

- 3 企業理念
- 4 トップメッセージ/CSR基本方針
- 5 ゴールドウインが目指す「サステナビリティ」
- 6 【巻頭特集】未来を見据えて ～構造タンパク質「プリュード・プロテイン」の開発～

PLANET

- 9 環境活動報告
- 12 環境問題への取り組み:「THINK SOUTH FOR THE NEXT」プロジェクトを主催/ショッピングバッグ・ギフトラッピングを2月1日より有料化
- 13 株主優待の商品をすべて「GREEN IS GOOD」のコンセプト商品に/「THE NORTH FACE」と山梨県北杜市が包括連携協定を締結
- 14 環境のためにできることを、GREEN IS GOODのコンセプトのもとで展開/「GREEN MATERIAL(選んで使う)」の取り組み:新たな構造タンパク質素材「プリュード・プロテイン」を使用したウェアを発売
- 15 不要になったセイルクロスを回収し、新たな製品を製作・販売/2019年も海の家「SAIL HUS(セイルハウス)」に協力
- 16 生分解性の繊維とフルーツダイを採用し、環境に配慮したカットソーのシリーズを発売/独自の循環型アップサイクルプロジェクト「EXPLORE SOURCE」
- 17 「GREEN CYCLE(繰り返し使う)」の取り組み:循環型リサイクルシステムを2019年度も継続/「GREEN MIND(大切に使う)」の取り組み:リペアサービスを2019年も継続

PROSPERITY

- 19 イノベーション/技術革新:高機能アウターウェアのカスタマイズサービスを開始/水産業就業者向けワーキングウェアの共同開発をスタート/開け閉めの操作が快適な新型ファスナー「AiryString®」を採用
- 20 「宇宙下着」の技術を応用したウェア「MXP」の展開/産前産後に使用できる機能的なマタニティウェアを発売
- 21 職場環境、働きがい:各地に出店し、社員の活躍の場を拡大
- 22 「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定/障がい者雇用
- 23 地域貢献:渋谷区と「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」を締結
- 24 「富山マラソン2019」に特別協賛
- 25 寛仁親王記念杯第21回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント開催/令和2年7月九州豪雨災害に対する支援

PEOPLE

- 27 スポーツ支援:国際トレイルランニング大会「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI 2019」に協賛
- 28 次世代育成:「ゴールドウイン FIS ユース ジャパンカップ2020」に特別協賛/自然を体感しながら親子で学ぶ「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」/選手が使用したスキーを和寒町のスキー少年団に寄贈
- 29 「第10回 ゴールドウイン ジュニアチャレンジゴルフ大会」開催/小学生向けラグビーイベントに協賛/スキー競技者育成支援を開始
- 30 共生社会の実現(障がい者スポーツ支援):当社社員 鈴木孝幸が「2019パラ水泳世界選手権」にて5つのメダルを獲得/車いすテニスプレーヤー 大谷桃子選手とアスリートサポート契約を締結
- 31 視覚障がい者のクライマーの支援Tシャツを販売/ALS(筋萎縮性側索硬化症)支援チャリティーTシャツを製作、寄付/株主優待制度により「公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会」へ寄付
- 32 その他の活動報告/当社における新型コロナウイルス感染症拡大防止策について
- 33 「ゴールドウイン西田育英財団」と「ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団」について
- 34 コーポレート・ガバナンス
- 35 経営情報
- 36 会社概要

【CSRレポートについて】

本レポートは、ゴールドウイングループのCSRに関する取り組みを知っていただくため、毎年発行しているものです。本レポートならびに当社のCSR推進活動に対するご意見、ご感想、ご要望などをお待ちしております。

スポーツと環境を第一に考え、 世界に貢献する企業に

現在、世界はかつて体験したことがないほど、未来が見通せない混沌とした状況にあります。新型コロナウイルス感染症問題、人口問題、エネルギー問題、環境問題、教育問題、自然災害の大型化など、私たちの目の前には待ったなしの課題が数多く存在しています。そのなかでも環境問題はスポーツ、衣料の側面からも見過ごすことのできない喫緊の重要課題です。これらの課題に対して、常識を突き抜ける想像力で臨み、多くの人が環境問題への意識を変えていくような革新的な開発を続けて参ります。



株式会社ゴールドウィン
代表取締役社長
渡辺 貴生

CSR基本方針

ゴールドウイングループでは、企業理念の「スポーツを通じて、豊かで健やかな暮らしを実現する」の考えのもとに、製造から販売、お客さまの手元に商品が届き、アフターサービスに至るまで、あらゆる段階で心を配ることを実践しています。

また、経営の透明化や、従業員が健康に働きつづけられる職場環境づくり、そして地球環境・生態系への配慮、次世代育成、地域・社会へのスポーツを通じた貢献など、これらすべてを「スポーツ」への敬意と情熱を通じて実現してまいります。

ゴールドウィンが目指す「サステナビリティ」

当社は、持続可能な社会を目指すうえで、国際社会で合意された「持続可能な開発目標 (SDGs)」を指針としています。SDGsのゴールは、別々に達成するものではなく、各々がつながりを持ち、相互に作用するものです。当社が目指すサステナビリティも、環境配慮だけではなく、社会との関わり、経済活動も含めた当社の事業そのものに関わるものです。

またSDGsでは、17の目標を「People (人)」「Prosperity (豊かさ)」「Peace (平和)」「Planet (地球)」「Partnership (連帯)」に分類しておりCSRレポートでもそのテーマで取り組みを紹介します。



持続可能な開発目標 (SDGs) 17のゴール



PEACE & PARTNERSHIP

現時点では、当社の事業活動により貢献できる3つのP (People、Prosperity、Planet) に分類される取り組みに注力します。今後、PeaceとPartnershipに分類される取り組みについて、当社ができることを検討してまいります。

巻頭特集

未来を見据えて

～構造タンパク質「ブリュード・プロテイン(※)」の開発～

現在スポーツアパレルの多くは、石油を原料として製造された合成高分子材料(ポリエステルやナイロンなど)を使用していますが、これらの材料はその製造工程で膨大なエネルギーを消費しており、膨大な温室効果ガスを排出しています。石油の枯渇が懸念されている状況において、持続可能な資源へ転換していくことは、現代社会に生きる私たちにとっての大きな責任です。

こうした地球規模の環境問題に挑むため、当社は2015年、Spiber(スパイバー)株式会社と「構造タンパク質素材」の共同研究を開始しました。

タンパク質には酵素や抗体のように生理的な役割を果たすものと、細胞骨格やクモの糸のように構造的な役割を果たすものがあり、Spiberでは後者を「構造タンパク質」と定義しています。毛や爪などを構成する「ケラチン」や、骨、皮膚などを構成する「コラーゲン」も構造タンパク質のひとつと言えます。





共同研究開発では、構造タンパク質素材の実用化に向けた研究と製品の開発を進めてきました。微生物を使った発酵プロセスによってタンパク質を生成し、Spiber独自の加工技術により繊維化、紡糸、製織、生地加工、ガーメント制作の各工程でのテストを繰り返してきました。その過程で量産化に向けた数々のノウハウと加工技術を確立してきました。

そして2019年8月、共同開発した構造タンパク質「ブリュード・プロテイン（※）」を使用したTシャツ「Planetary Equilibrium Tee」を発売。さらに同年12月にはアウトドアジャケット「MOON PARKA」を発売しました。この「MOON PARKA」は、主原料を石油などの化石資源に依存せず、微生物による発酵プロセスによりつくられた構造タンパク質を使用して市販される世界初のアウトドアジャケットです（2019年8月29日現在、一般社団法人構造タンパク質素材産業推進協会調べ）。

天然のクモの糸を模倣する技術から始まった研究開発は、現在ではより多様なタンパク質素材を作るフェーズに入っており、スポーツアパレルに求められるさまざまなニーズに合わせた、タンパク質素材の開発を進めています。

私たちは今後も、機能と環境性を高度に両立した全く新しい素材のあり方、製品のあり方、経済のあり方を考え続け、自然と美しく調和する未来のライフスタイルに寄り添うスポーツアパレルをデザイン、提案することによって、人類社会の持続可能な発展に大きく貢献できると信じ、今後も研究開発に努めてまいります。

※ブリュード・プロテインはSpiber株式会社の商標です。

構造タンパク質「ブリュード・プロテイン」を使用した「MOON PARKA」に関する動画をご覧ください。

<https://corp.goldwin.co.jp/csr/future>



PLANET

常識を突き抜ける想像力、
世界に貢献する革新的な開発で
地球環境の改善を目指す



環境に配慮した製品の開発、楽しみながら環境への負担を減らせるようなアイデアなど、スポーツ用品メーカーとして環境のためにできることを展開しています。

環境活動報告

ゴールドウイングループでは「環境基本理念」と「環境方針」を定め、持続可能な社会実現のための行動計画を作成し、環境パフォーマンスの持続的な改善に取り組んでいます。

持続可能な社会を実現するために

環境基本理念

私達には、自然と共存し調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられています。ゴールドウイングループは、スポーツウエアをはじめ各種機能ウエアの企画、製造、販売を通じて環境負荷の低減を目指すとともに、健康総合企業として地球環境にやさしい商品の提供により環境への有益な影響を増進するなど、地球環境保護への姿勢を以下の環境方針に定めます。

環境方針

1. 事業活動または保有する設備が適用を受ける環境に関する法律、規則およびその他要求事項を遵守するとともに、可能な限り自主基準を設定し、環境の汚染予防と環境保護に努めます。
2. 事業活動が環境に与える有害な影響を認識し、全社員参加によりその影響を低減し、緑の地球を守ります。
3. 環境影響を改善するための目的・目標の設定、および見直しを実施し、継続的な改善活動を実施します。
4. エネルギーおよび資源の使用量・排出量を十分に認識し、限りある地球資源の有効利用、産業廃棄物の削減を実施します。
5. 持てる経営資源を結集して独自の技術を開発し、人の健康と環境にやさしい商品の開発を推進いたします。
6. 地球と生物が健康体であり続けるために、自然環境に調和し、地域社会と共存できる企業であり続けます。

ISO14001 認証取得

ゴールドウイングループは富山地区にて、スポーツアパレル業界で初めて1999年11月にISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得しました。環境保全活動・環境配慮商品の開発と省資源による事業効率向上とを両立させるため、2006年2月にはゴールドウイン全事業所がISO14001の認証を取得。さらに2008年7月にはゴールドウインロジテムが、2011年8月にはカンタベリーオブニュージーランドジャパンが、2013年9月にはブラックアンドホワイトスポーツウエアが、同様にISO14001の認証を取得しています。当社の経営指針の1つである「きれいな経営」を実践し、雇用・経済活動に加え、環境に配慮した商品・サービスの提供を通じて社会に貢献してまいります。

ISO14001 認証事業所



限りある地球資源の有効利用

当社は環境方針の中で「限りある地球資源の有効利用」を掲げており、省資源活動、原材料使用量の削減を進めています。2019年度は、原材料ロスの低減活動の推進、クレーム・リペア情報からのフィードバックによる設計改善、設備管理・工程管理の徹底、物流梱包資材の削減活動の推進、仕事の仕組み・仕方の見直しによる管理・効率のアップ（業務改善活動）の推進。使用後の製品回収活動再利用システム・製品回収量の向上に取り組み、2019年度は1年間で3.1tの製品を回収しました。



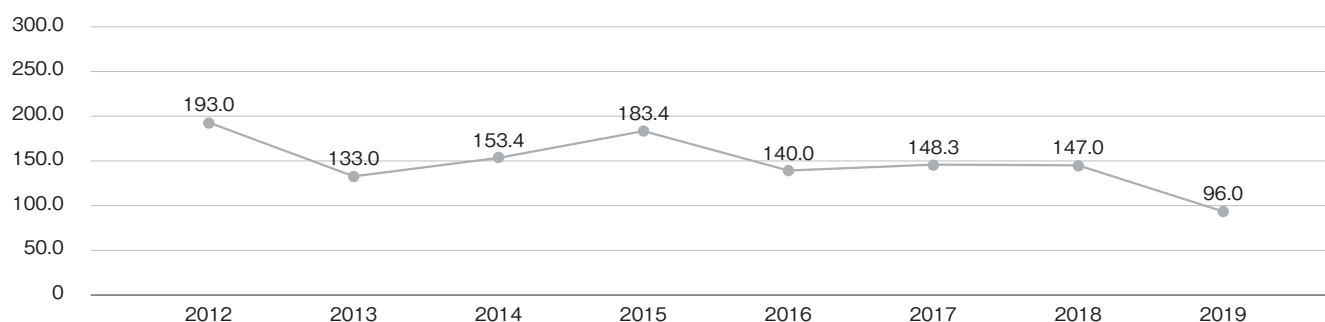
① 産業廃棄物の削減

産業廃棄物の削減

当社は環境方針として、製品・原材料における廃棄処分量の低減を掲げ、その発生抑制と製品の再利用を進めています。2019年の結果は96tとなり基準年比目標を達成できました。今後も廃棄物発生予防へ向けた活動の推進、発注流動管理

の徹底、余剰資材の有効活用の推進、製品不良・リコール低減活動の推進、加工ロスの徹底排除、廃棄物の分別、細分化による再利用の推進、5S活動の推進などを通して、産業廃棄物の削減にこれまで以上に努めてまいります。

産業廃棄物(廃プラ)排出量推移(t)



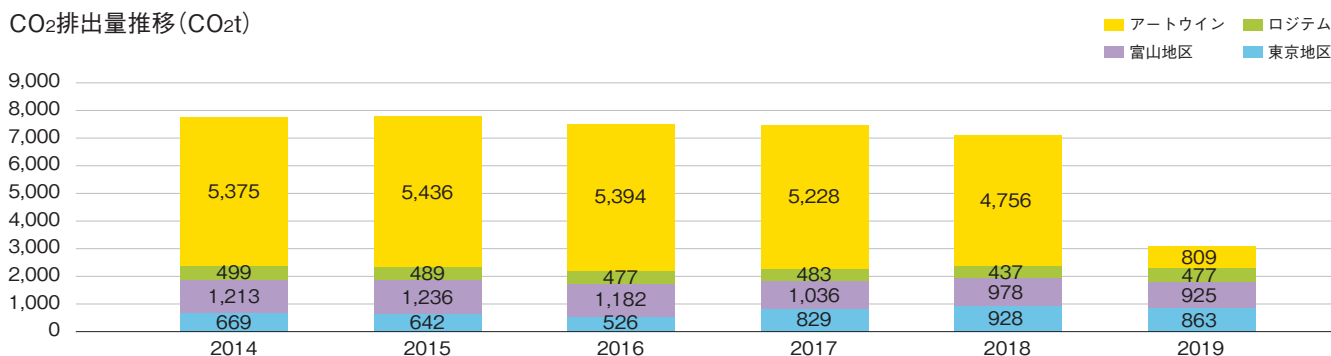
②低炭素社会に向けて

環境の汚染予防と環境保護

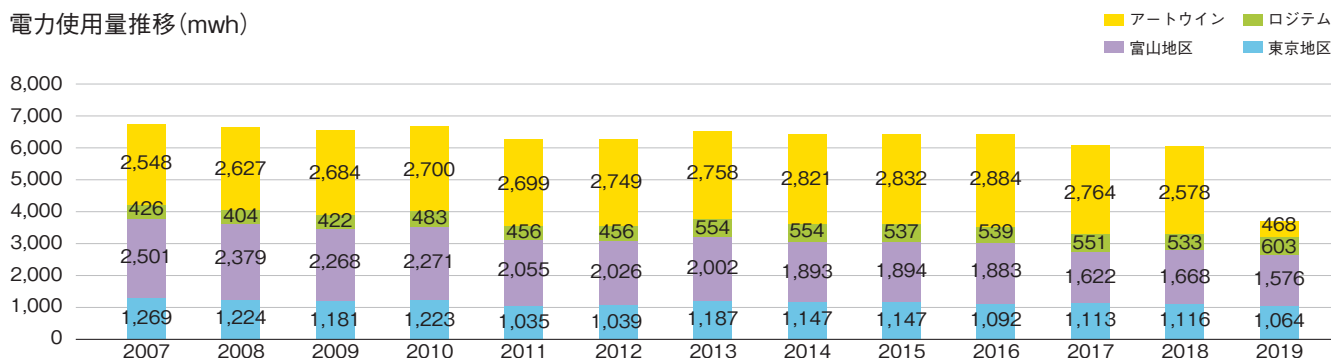
当社は環境方針の中で「環境の汚染予防と環境保護」を掲げており、CO₂排出量の削減に継続的に取り組んでいます。2019年度は管理指標としてCO₂排出量3,738t以内を設定、富山地区での照明LED化による電力消費削減の効果もあり、

実績は3,074tと目標を達成しました。また業務の改善により、作業の効率化による時間外労働の削減と共に、生産体制における効率稼働、輸送ルートの見直しや積載効率の改善、アイドリングストップなどによる省エネ運転を推進しました。引き続き、低炭素社会の実現に向けた取り組みを行っていきます。

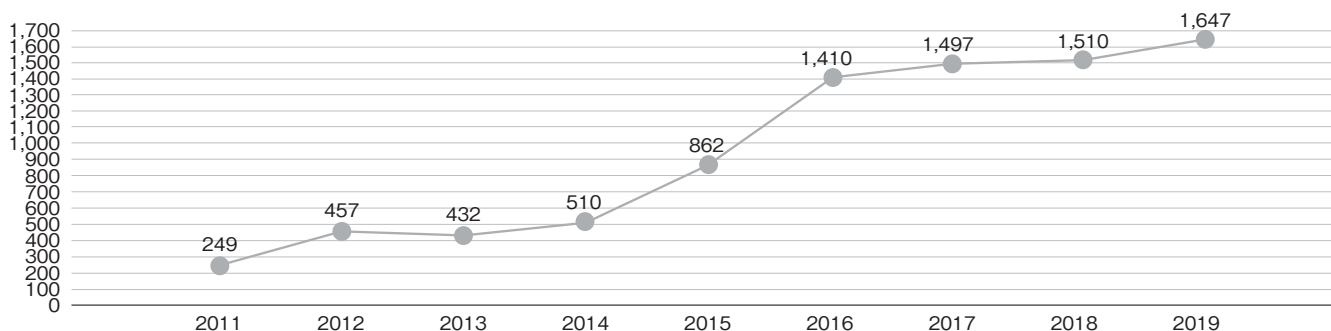
CO₂排出量推移 (CO₂t)



電力使用量推移 (mwh)



業務改善件数推移 (件)



環境問題への取り組み

包装資材使用量の削減を目指した取り組み

当社は2020年2月1日より、当社国内直営店におけるショッピングバッグおよびギフトラッピングの有料化を開始しました。環境に配慮した製品の開発や、再利用できる製品パッケージの使用などに加え、包装資材使用量のさらなる削減を目的としたこの取り組みにより、今後もスポーツ用品メーカーとして環境のためにできることを推進していきます。

『THINK SOUTH FOR THE NEXT』プロジェクトを主催

当社が、日本ゴア株式会社、株式会社DACホールディングスと主催を務める『THINK SOUTH FOR THE NEXT』プロジェクトが、2019年7月27日にスタートしました。

1989年、日本を代表する冒険家の舟津圭三氏をはじめとする世界各国6名の冒険家が、環境と平和の重要性を訴える目的で世界初となる南極犬ぞり横断へと出発し、見事全員が約6,400kmを踏破しました。本プロジェクトは、当時彼らが考え、世界に発信した現代社会の問題に改めて注目し、次世代へ継承していこうというものです。

当社は本プロジェクトの主催として、2019年11月にはシンポジウムを運営。シンポジウムでは環境と平和の大切さ、チャレンジスピリットの重要性を次世代につなげていく「東京宣言2019」を発表しました。

本プロジェクトでは、今後も引き続き環境問題の現状を、より多くの人に発信していきます。



THE NORTH FACEと山梨県北杜市が包括連携協定を締結

2020年1月16日、当社が展開する「THE NORTH FACE(ザ・ノース・フェイス)」と山梨県北杜市は、ザ・ノース・フェイスのアウトドアへの知見と北杜市の持つ自然環境を活かした地域活性化への取り組みを推進するための包括連携協定を締結しました。

この包括連携協定の締結により、子どもたちに北杜市の魅力を知ってもらうこと、登山道の整備などの環境保護、鉄道の駅からアウトドアフィールドまでのアクセスなどの課題解決に、共に取り組んでいく予定です。



株主優待の商品をすべて「GREEN IS GOOD」のコンセプト商品に

当社では株主優待として、自社製品を進呈しています。2020年度のご優待商品は4コースあり、そのうち選択制の商品(A～Cコース)をすべて「GREEN IS GOOD」のコンセプト商品としました。



Aコース

ペットボトルを原料としたリサイクルポリエステル素材のTシャツ



Bコース

環境負荷の少ない栽培方法で作られたオーガニックコットンのバッグ



Cコース

長く大切にに使っていただくことで環境に配慮できるという観点から汎用性の高いセームタオル

Dコース(寄付)

共生社会の実現を目指す一環として当社がオフィシャルパートナーを務める公益財団法人日本障がい者スポーツ協会への寄付

環境のためにできることを、GREEN IS GOODのコンセプトのもとで展開

当社では、スポーツ用品メーカーとして環境のためにできることを、GREEN IS GOODのコンセプトのもとで展開。「GREEN MATERIAL (選んで使う)」「GREEN CYCLE (繰り返し使う)」「GREEN MIND (大切に使う)」をキーワードに、製品づくりから回収・再生の各段階にて、緑の地球を守るための多彩な取り組みを実践しています。

「GREEN MATERIAL (選んで使う)」の取り組み

新たな構造タンパク質素材「ブリュード・プロテイン(※)」を使用したウェアを発売

当社では2015年からSpiber(スパイバー)株式会社との共同研究により、構造タンパク質素材の開発に取り組んできました。天然のクモの糸を模倣する技術から始まった研究開発は、現在ではより多様なタンパク質素材を作るフェーズに入っており、スポーツアパレルに求められるさまざまなニーズに合わせた、タンパク質素材の開発を進めています。2019年には、Tシャツとアウトドアジャケットの製品化を実現しました。



【Planetary Equilibrium Tee】

2019年8月下旬、両社のコラボレーションアイテムとして、「ブリュード・プロテイン(※)」を使用した「Planetary Equilibrium Tee」を、当社が展開するアウトドアブランド「THE NORTH FACE(ザ・ノース・フェイス)」から発売しました。



【MOON PARKA】

3層から成る表地の表側に「ブリュード・プロテイン(※)」を100%使用。微生物による発酵プロセスによりつくられた構造タンパク質を使用して市販される世界初のアウトドアジャケットです(2019年8月29日現在、一般社団法人構造タンパク質素材産業推進協会調べ)。



【スケートボード】

Spiberと当社は2019年、カリフォルニア発のロングスケートボードメーカーのLoaded Boards(ロードド・ボード)社とともに、バンブー(竹)と「ブリュード・プロテイン(※)」を用いた複合材料を使用したスケートボードの共同研究開発に着手しました。

※ブリュード・プロテインはSpiber株式会社の商標です。

不要になったセイルクロスを回収し、新たな製品を製作・販売

当社が展開する「HELLY HANSEN(ヘリーハンセン)」は、セーラーから回収して不要になったセイルクロス(ヨットの帆)を加工し、新たな製品を製作(アップサイクル)・販売するプロジェクト「VINDKRAFT(ヴィンドクラフト)」を開始しました。

プロジェクト第1弾として、2019年5月31日から7月31日の期間でセイルクロスの回収を「葉山マリナー」(神奈川県三浦郡)で実施。19のセイルクロス回収、212の製品へアップサイクルし、販売しています。



2019年も海の家「SAIL HUS(セイルハウス)」に協力

「HELLY HANSEN」は、FMG株式会社が2019年7月5日から8月31日の期間、神奈川県三浦郡葉山町一色海水浴場で運営した海の家「SAIL HUS(セイルハウス)」に、屋根の資材やビーチベッドの材料として利用できる不用になったヨットの帆の提供、ライフジャケットの貸し出しなど、さまざまな面から協力しました。

「HELLY HANSEN」の「SAIL HUS」への協力は2017年から始め、3年目となります。「VINDKRAFT」を展開していることから、2019年は不要になったヨットの帆を活用するワークショップも開催しました。



生分解性の繊維とフルーツダイを採用し、 環境に配慮したカットソーのシリーズを発売

2020年3月、「THE NORTH FACE (ザ・ノース・フェイス)」から、FRUITS DYE (フルーツダイ) カットソーアイテムを発売しました。

このシリーズは、植林管理された森林区域から原料材木を採取し、環境に配慮した製法で生産された生分解性繊維の「テンセル™(※)」というレンチング社の素材に、果実から染料を抽出し染色するフルーツダイという技法を採用した、「THE NORTH FACE」独自の環境配慮型の商品です。

3月に発売した商品は、主にオーストリアとその近隣諸国のサステナブルな森林から調達した再生可能な木材のみを原料とした生分解(堆肥化)繊維であるテンセル™を使用しています。この原料は、再生可能エネルギーの使用と、製造プロセスで使用する薬品類を回収することにより、資源保全を徹底した製造工程をとっています。

※テンセル™はLenzing AGの商標です。



独自の循環型アップサイクルプロジェクト「EXPLORE SOURCE」

「EXPLORE SOURCE (エクスプロアース)」は、「THE NORTH FACE」独自のウェアリサイクルの循環型アップサイクルプロジェクトです。「THE NORTH FACE」直営店のリサイクルボックス設置店舗で顧客より冒険を終えた(不要になった)アパレル製品を回収し、そこから純度の高いポリエステル素材を再生成し、よりハイスペックな製品へアップサイクルして次の冒険へつないでいくというストーリーを持った取り組みです。

「THE NORTH FACE」は2020年7月、「EXPLORE SOURCE」の取り組みの一環として開発されたリサイクル繊維を用い、できるだけ石油資源に依存しないモノづくりを実現した「Instinct Explorer (インスティンクト エクスプローラー)」シリーズのアイテムを発売しました。あらかじめ染色された糸を直接編み込んで成型するため裁断を行わず、従来と比べ廃棄ロスが少ないなど、製造工程面でも環境に配慮しています。



「GREEN CYCLE (繰り返し使う)」の取り組み

循環型リサイクルシステムの拠点を拡大

「GREEN CYCLE」はメーカー・ブランド、質・状態にかかわらず、服を回収し、新たな製品の原料にリサイクルする、2009年に開始した当社の取り組みです。2019年度は、昨年より10店舗増え全国の当社直営店68店舗（2020年3月末時点）で服の回収を実施しました。

2019年度の回収重量は3,193.3キログラムとなり、多くの方にご協力をいただいております。回収重量3,193.3キログラムは、CO₂の発生量に換算すると2万4,013.6キログラムとなり、杉の木1,715本が1年間に吸収するCO₂量に相当します（※1）。また、これまでの回収重量の累計は、1万1,146.8キログラムとなりました。

回収した服のうち、ポリエステルやナイロン製のものは、高純度の原料に戻すケミカルリサイクル（※2）を行い、ダウンウエアは新たなダウン製品の原料とします。



※1:環境省の「3R行動見える化ツール(簡易版)」にて換算

※2:化学的に処理して、石油から製造した場合と同レベルの高純度の原料にリサイクルすること。

「GREEN MIND (大切に使う)」の取り組み

大切に使用いただくためにリペアサービスを推進

「THE NORTH FACE (ザ・ノース・フェイス)」では、「もし素材や製造上の欠陥が原因であれば、代金は一切いただきません。その他の場合は、適正な価格で修理いたします」というポリシーを徹底したリペアサービスを行っています。現在当社では、「THE NORTH FACE」をはじめとしたアウトドアブランドの製品に限らず、モーターサイクルウエア、スキーウエア、アスレウエアなどもリペアの対象としており、キッズ商品（一部を除く）は無償で対応しています。

環境への関心の高まりなどにより、製品の使用期間は長期化する傾向にあり、修理の依頼も増加しています。2004年の時点で年間3,500件程だった依頼は、2019年には1万4,448件（前年対比108%）に増えました。



PROSPERITY

感動を創造し、
持続可能な社会を推進する
人間らしい企業になる



技術革新の追求、職場環境の整備、地域のスポーツ振興など、多彩な側面から持続可能な「豊かさ」について常に考え、取り組みを推進します。

イノベーション／技術革新

高機能アウターウェアのカスタマイズサービスを開始

2019年11月22日にオープンした渋谷PARCO(パルコ)内に同日、新店舗「THE NORTH FACE LAB (ザ・ノース・フェイス ラボ)」をオープンしました。この店舗では、3Dスキャンシステムを用いたウェアカスタマイズサービス「141 CUSTOMS(ワンフォーワンカスタムズ)」を展開。専門スタッフによるカウンセリングからカラーの好みや体型等の個性に合わせた1着を製作する、アウトドアブランドとして革新的な試みとなります。カスタマイズされた高機能製品を長く使用してもらいたいという想いは、限りある資源に対して長期的な視座を持った消費を実現をしていきたいという、サステナビリティの側面を意識した取り組みでもあります。



水産業就業者向けワーキングウェアの共同開発をスタート

当社が展開する「HELLY HANSEN(ヘリーハンセン)」と近畿大学は、2017年12月に製品の開発支援に関する契約を結び、2019年7月、水産業就業者向けワーキングウェアの共同開発を本格的にスタートさせました。

高齢化する水産業界において新規就業者、特に若手の確保は最も重要な課題であり、これまで3K(キツイ・汚い・危険)のイメージが先行していることが、それを妨げているとされていました。ヘリーハンセンの培ってきた知見を活かした高いデザイン性と、不快感を軽減する軽くて動きやすい機能的なウェアの開発により、水産業就業者自身が心身共に快適に働く姿を見せることで、水産業界のイメージを変えていきます。



開け閉めの操作が快適な新型ファスナー「AiryString®」を採用

「THE NORTH FACE」から2019年に発売した秋冬シーズン製品「GTX Nuptse Jacket(ゴアテックス ヌプシジャケット)」「GTX Denali Jacket(ゴアテックス デナリジャケット)」に、新型ファスナー「AiryString®(エアリースtring) (※)」を採用しました。

「AiryString®」は、YKK株式会社とJUKI株式会社の共同開発によって生まれた、ファスナーテープを排しファスナーのかみあう部分である「エレメント」とファブリック(服地)を一体化させた、軽量化と操作性を向上させ、誰もが快適に開閉できる新しい技術のファスナーです。

※「AiryString®」はYKK株式会社の登録商標です。



「宇宙下着」の技術を応用したウェア「MXP」の展開

当社はJAXA、J-Spaceと共同で、宇宙飛行士が着用する下着「宇宙下着」のために、高い消臭効果を発揮する素材「マキシフレッシュプラス」を2008年に開発しました。この素材を一般市場向けに応用するブランド「MXP」の展開を2010年より開始し、現在も新たな製品を生み出し続けています。ユーカリの木を原料としているため、環境にも配慮した商品です。

【メッセージTシャツ】

消臭をエチケットとして考えるきっかけを作る企画として、毎年ひとりのアーティストを起用する「MXP MESSAGE T-SHIRTS」を2018年から展開。2019年5月17日に発売した第2弾では、現代美術作家の加賀美健氏がデザインを担当しました。

【アーバンサバイバルキット】

MXPの代表的な消臭機能素材「MXP FINE DRY」を使用したトップス、ショーツ、同じく消臭機能を兼ね備えたソックス、フェイスタオルと、オリジナルのモバイルバッテリーチャージャーを組み合わせ、専用のロールトップバッグにセットインしたコンセプト商品「アーバンサバイバルキット」を2020年6月12日に発売しました。



産前産後に使用できる機能的なマタニティウェアを発売

当社は「THE NORTH FACE (ザ・ノース・フェイス)」から、女性向けに妊娠中、産前産後も快適に着ることができる機能的なマタニティウェアを発売しました。長年アウトドア製品などの開発で培ってきた軽量性や保温性などの機能性を取り入れることで妊娠中、産前の身体的負担を軽減し、産後は日常生活や子どもと野外で遊ぶ際にも活躍します。

「THE NORTH FACE」では女性向けの商品開発を強化しており、今回のマタニティウェアもその一環に位置付けられます。

【第一弾】

ダウンコート、フリースワンピース、パンツ、アンダートップス、レギンス、ソックスの全6型を、2019年10月上旬より販売開始。

【第二弾】

レインコート、オーバーオール、ワンピースなど全7型を、2020年4月上旬より販売開始。





職場環境、働きがい

各地に出店し、社員の活躍の場を拡大

2019年度も多様な業態の店舗を各地に出店し、社員の活躍の場を広げました。また、現地で販売スタッフを採用することで、地域の雇用創出にも貢献しています。

2019年6月7日

「THE NORTH FACE kids 札幌ステラ
プレイス」オープン
ザ・ノース・フェイスのキッズ専門アウトドア
ショップを北海道内初出店

2019年6月27日

「THE NORTH FACE+ 沖縄・浦添
PARCO CITY店」オープン
「サンエー浦添西海岸 PARCO CITY
(パルコ シティ)」に出店

2019年10月5日

「THE NORTH FACE / HELLY
HANSEN 静岡店」オープン
本格アウトドアユーザーからファミリーまで、
衣・食・住を楽しむ空間を提案

2019年11月22日

「THE NORTH FACE LAB」オープン
11月22日グランドオープン渋谷PARCO
に新店舗を出店



2019年11月22日

「Goldwin San Francisco」オープン
初の海外直営店を米国カリフォルニア州サ
ンフランシスコにオープン

2020年2月29日

「Goldwin Harajuku」オープン
東京・原宿に、丸の内、サンフランシスコに
次ぐ3店舗目となるブランド直営店をオープン

2020年3月20日

「THE NORTH FACE / HELLY
HANSEN kids ららぽーとTOKYO-BAY
店」オープン
千葉県船橋市の「ららぽーと
TOKYO-BAY」内にキッズ専門のアウトド
アショップを出店



2020年5月17日

「THE NORTH FACE / HELLY
HANSEN 知床店」オープン
世界自然遺産の北海道・知床国立公園内
にオープン

2020年6月24日

「THE NORTH FACE 3 (march)
NEWoMan横浜」オープン
女性向け業態「THE NORTH FACE 3
(march)」の新店舗

「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定

当社は経済産業省より「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定されました。健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

当社は従業員の心と身体の健康と安全確保を経営の重要課題と位置づけ、経営トップが率先して健康増進を推進し、さまざまな取組を行っています。定期健康診断の全従業員受診、敷地内禁煙やストレスチェックの実施、ワークライフバランスの改善、健康増進やメンタルヘルス研修など、従業員が心身共に安心・安全に働ける環境づくりに努めています。



障がい者雇用

当社はスポーツを通じた豊かな暮らしの実現と、社会の発展に寄与することを目指し、障がい者の方の就労・定着にも取り組んでいます。

その取り組みの一環として、株式会社スタートライン様と「屋内農園型障がい者雇用支援サービスIBUKI」を契約し、埼玉県川越市に2019年10月1日に「GOLDWIN KAWAGOE FARM」を開設いたしました。

ここで生産したハーブを使ったハーブティは、東京本社の社員食堂で提供している他、NEUTRALWORKS.のノベルティとしても使用しています。



地域貢献

渋谷区と「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」を締結

当社は渋谷区と「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」（以下、S-SAP協定）を2019年4月11日に締結しました。「S-SAP協定」は、渋谷区と渋谷区内に拠点を置く企業や大学等が協働して地域の社会的課題を解決していくために締結する公民連携制度です。

当社と渋谷区は「共生社会の実現」という同じ目標達成に向けスポーツを通じた活動に取り組んでいることから、協働することでさらなる推進につながると考え、本協定の締結にいたしました。



協定の内容

ゴールドウィンと渋谷区は、以下の項目について協働します

- (1) スポーツを通じた共生社会の実現に関する支援
- (2) 次世代育成に関する支援
- (3) 環境保全に関する支援
- (4) 災害対策に関する支援
- (5) その他、相互に連携協定することが必要と認められる支援

【ラグビーウェアの秘密をテーマに展示】

当社のグループ会社である株式会社カンタベリーオプニュージーランドジャパンは、2019年9月4日～11月10日、東京都渋谷区教育委員会が運営する「こども科学センター・ハチラポ」にて、「世界に勝つための日本代表ユニフォームに隠された秘密」をテーマに展示を行いました。

15人制ラグビー日本代表・車いすラグビー日本代表に提供するユニフォームの展示をはじめ、車いすラグビー用の車いす乗車体験や、ラグビーをより身近に感じてもらうための楽しいフォトコーナーを設置し、子どもたちにラグビーの魅力を発信しました。



【平山ユージ氏によるクライミング教室を開催】

2019年10月14日、THE NORTH FACEアスリートの平山ユージ氏による子ども向けのクライミング教室が渋谷区で開催されました。「S-SAP協定」の一環として開催され、当社からは参加する子どもたちの保険加入、参加賞Tシャツの提供を行いました。

ロープクライミング2クラス、ボルダリング2クラス、のべ約80名の子どもたちが参加。開会式には、渋谷区長の長谷部健氏も駆けつけ、初めてのロープクライミングに挑戦されました。



【タオルマフラー4,500枚を提供】

当社がオフィシャルサプライヤーを務める、車いすラグビーの国際大会「車いすラグビーワールドチャレンジ2019」が、10月16日から20日に東京体育館（渋谷区千駄ヶ谷）で開催されました。渋谷区で開催されることから、「S-SAP協定」の一環として、渋谷区内の小学生に配布されるタオルマフラー4,500枚を提供しました。

また、当社は2016年より車いすラグビー日本代表チームへユニフォームを提供しているほか、今大会の大会関係者、ボランティアを含む運営スタッフが着用するウェアを「カンタベリー」ブランドで提供しました。



「富山マラソン2019」に特別協賛

当社は2019年10月27日、当社創業の地である富山県で開催された「富山マラソン2019」にゴールドパートナーとして特別協賛しました。

2019年で5回目を迎える本大会には富山県内外から約1万4,000名が参加し、フルマラソン、車いす、ジョギングのレースが行われました。当社は第1回（2015年開催）から継続してゴールドパートナーを務めています。

【富山マラソン2019での主な当社の取り組み】

- 「大会記念グッズ」を販売
- 完走後のランナーの皆さんにリカバリーサービスを提供
- 過去大会の「参加賞Tシャツ」「大会記念Tシャツ」を回収し、リサイクル
- 参加記念Tシャツ・大会スタッフユニフォームの提供
- 当社社員約30名が第一給水所で給水ボランティア活動
- 当社有志社員による私設エイドを設置
- 「富山マラソン2019」特設Webサイトを開設



寛仁親王記念杯第21回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント開催

2019年10月17日に、富山県小矢部市のゴルフ倶楽部ゴールドウインで「寛仁親王記念杯第21回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント」が開催されました。大会を通じて障がい者福祉への正しい理解を深める活動の推進を図ることを目的としており、当社もその開催に毎年協力しています。

今年の大会は123名のプレーヤーが参加。コース内4カ所のショートホールをウェルフェアホールとし、スコアにあわせて募金をいただきました。



【純益金贈呈式】

大会の純益金贈呈式が11月20日に行われました。ウェルフェアホールでいただいた募金の他、大会の純益金と当社の寄付金とを合わせた100万円が、大会会長の西田明男より、「コミュニティスペース ややのいえ(石川県小松市)」の代表・榎原千秋氏に贈呈されました。

「コミュニティスペース ややのいえ」では、生活(宿泊)機能を備えた新しい事業所を運営する構想があり、その費用に充てることを希望されています。

令和2年7月九州豪雨災害に対する支援

当社の「THE NORTH FACE(ザ・ノース・フェイス)」は、「令和2年7月九州豪雨」被災地支援として九州トレイルランニング協会(TRAQ)が行う被災者支援に賛同し、「THE NORTH FACE」が協賛する「ULTRA-TRAIL Mt.FUJI(ウルトラトレイル・マウントフジ)」に大会の参加賞として製作した未使用の吸汗速乾性に優れたTシャツを寄贈しました。

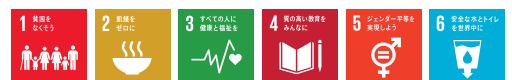
支援の概要は以下の通りです。

【支援内容】

- ・支援物資:Tシャツ 約700枚
- ・支援方法:九州トレイルランニング協会(TRAQ)を通じて支援

PEOPLE

子どもたちの可能性を引き出し、
美しい未来を形づくるための
閃きと機会を提供する



次世代の子どもたちの育成や、健康な人も障がいのある人も分け
へだてなくスポーツを楽しみ、誰もが健やかに暮らせる「共生社会」
の実現に寄与することを目指します。

スポーツ支援

国際トレイルランニング大会 「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI 2019」に協賛

2019年4月26日から29日に開催された「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI(ウルトラトレイル・マウントフジ、以下UTMF)2019」に協賛しました。

UTMFは2012年に始まり、今年で9回目を迎える国際的なトレイルランニングレースです。レースの総距離は約167kmで、富士山の山麓、登山道、歩道、林道などを走りつなげます。当社は、第1回大会から協賛しています。

【社員を運営スタッフとして派遣】

新入社員を含む約100名の当社社員が運営スタッフとして、当社契約アスリートサポート、装備確認、粟倉ウォーターステーション運営、アスリートサポートなどの業務を担当しました。

【UTMF 2019 参加Tシャツリサイクルプロジェクト】

当社、日本環境設計株式会社、UTMF実行委員会とのパートナーシップにより、過去大会や他大会の参加Tシャツを回収する取り組みを実施しました。回収したTシャツは次回のUTMFの参加賞Tシャツに再生される予定です。



次世代育成

「ゴールドウイン FIS ユース ジャパンカップ2020」に特別協賛

2020年2月27日から3月1日に新潟県苗場スキー場にて開催された、日本初開催となるFIS(国際スキー連盟)公認「ゴールドウイン FIS ユース ジャパンカップ2020」大会に特別協賛しました。

オーストリア、イギリス、ベルギー、カナダの4カ国20名の他、合計153名の選手が参加。聴覚障がい選手(デフ選手)も参加しており、受け入れも4年目を迎え、選手が転倒した際に指差してコミュニケーションが取れるよう、当社が作成した「デフノート」を全競技役員が携行しました。



自然を体感しながら親子で学ぶ

「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」

未来の地球を受け継ぐ子どもたちとその親に、自然に寄り添い、生きる力を育んでもらいたいという思いから、親子が自然の中で楽しみながら学ぶ「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」を2014年から開催しています。2019年度は全10回のイベントを開催しました。



選手が使用したスキーを和寒町のスキー少年団に寄贈

2019年6月12日、北海道和寒町の町役場にて、ジャンプスキー6台、クロスカントリースキー10台を、和寒スキー少年団の小中学生に寄贈しました。寄贈したスキーは、国内のトップ選手が使用し、その後返却された「FISCHER(フィッシャー)」ブランドのものです。今後もこのような活動を通じ、「リサイクルの一環と地域への社会貢献」を含め、スキーの発展に寄与していきます。



「第10回 ゴールドウイン ジュニアチャレンジゴルフ大会」開催

2019年8月27日、ゴルフ倶楽部ゴールドウイン（富山県小矢部市）において「ゴールドウイン ジュニアチャレンジゴルフ大会」を開催しました。10回目を迎えたこの大会は、小学生から高校生までのジュニアゴルファーを対象に、競技力の向上だけでなく、ルールやマナーを学んでもらうことを目的に開催しています。



小学生向けラグビーイベントに協賛

2019年10月14日に駒沢オリンピック公園総合運動場で「体育の日記念行事」の一環として開催された小学生向けラグビーイベント（公益財団法人東京都スポーツ文化事業団主催）に、グループ会社のカンタベリーオブニュージーランドジャパンが協賛しました。

当日は約700名の子どもたちが参加し、元日本代表選手によるラグビークリニックや、普段はできない「ラグビー体験」を楽しみました。



スキー競技者育成支援を開始

当社のオリジナルブランド「Goldwin（ゴールドウイン）」は、世界の舞台で活躍するスキー競技者育成を支援する取り組みを、2020年から開始しました。

第1弾として、2月8日・9日に行われたジュニアスキー向けトレーニングキャンプ「Goldwin Jr. DEMO SKI CAMP in Kamui Ski Links」に協賛。ゲスト講師派遣に加え、選手が受講期間中に着用するオリジナルピブを提供するなど、キャンプの運営をサポートしました。



共生社会の実現（障がい者スポーツ支援）

スポーツ用品メーカーとして蓄積してきた技術と経験をもとに、当社は障がい者スポーツ支援活動を積極的に行っております。健康な人にも障がいのある人にも分けへだてなくスポーツを楽しむ機会が与えられるよう、「する人」「見る人」「支える人」の三者を等しく支え、誰もが健やかに暮らせる「共生社会」の実現に寄与することを、この活動の指針としております。

支援先団体 | 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、一般社団法人日本車いすラグビー連盟、一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟、一般社団法人日本ボッチャ協会、特定非営利活動法人モンキーマジック

当社社員 鈴木孝幸が「2019パラ水泳世界選手権」にて5つのメダルを獲得

当社社員 鈴木孝幸(CSR推進室)は2019年9月9日よりイギリス・ロンドンで開催されていた「2019パラ水泳世界選手権」に競泳日本代表として出場し、4つの銀メダルと1つの銅メダルを獲得しました。



車いすテニスプレーヤー 大谷桃子選手とアスリートサポート契約を締結

当社は、JWTA車いすテニスプレーヤーの大谷 桃子選手(株式会社かんぼ生命保険所属)とアスリートサポート契約を締結しました。

大谷選手は小学校3年生からテニスを始め、高校3年生でインターハイに出場。高校卒業後に病気を発症し、2016年から車いすテニス競技の活動を開始しました。「2018アジアパラ競技大会」には車いすテニス日本代表として出場し、シングルスで銅メダルを獲得しました。

本契約に基づき、当社が展開する「ellesse(エレッセ)」ブランドで、試合やトレーニング時に着用するウェアを提供します。テニスウェアブランドとしてこれまで培ってきた技術と経験をもとに、選手のパフォーマンス向上をサポートする高機能ウェアを提供することで、多くの国際大会で活躍する大谷選手を支援していきます。



視覚障がい者のクライマーの支援Tシャツを販売

THE NORTH FACEは、視覚障がい者のクライミングをサポートするNPO法人モンキーマジックへの活動支援を目的としたサポートTシャツを2006年から毎年作成しています。2009年度からはTHE NORTH FACEの直営店舗や取扱店舗でも「Monkey Magic Tee(モンキー マジック ティー)」として販売され、今期も販売しています。2020年4月には、その売上の一部である4,756,765円を視覚障がい者クライミングの普及活動のためNPO法人モンキーマジックに寄付しており、これまでの支援の総額は32,257,152円となりました。



ALS(筋萎縮性側索硬化症)支援

チャリティーTシャツを製作、寄付

当社のグループ会社であるカンタベリーオブニュージーランドジャパンは、ALS(筋萎縮性側索硬化症)支援のチャリティーTシャツを作製し、売上の一部から128万円を「NPO法人 ALS/MNDサポートセンターさくら会」を通じて、複数のALSの支援団体に寄付しました。



令和元年東日本台風の被災地・被災者にも寄付

2020年3月、カンタベリーオブニュージーランドジャパンは、ラグビーワールドカップ2019™日本大会における日本代表チームの活躍を記念して販売したメモリアルTシャツの売上の一部から600万円を、令和元年東日本台風の被災地や被災者への支援金として、日本赤十字社を通じ寄付しました。

株主優待制度により「公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会」へ寄付

株主の皆様にご案内した通り、当社の障がい者スポーツへの支援活動を知っていただくために、株主優待品として「公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会への寄付」コースを2019年度から用意しました。多くの株主様より賜りましたご芳志と当社からの贈呈を加えた合計200万円を、2019年11月付で寄付しました。2020年2月4日、日本障がい者スポーツ協会にて贈呈式が執り行われ、当社代表取締役の西田明男から日本障がい者スポーツ協会の鳥原光憲会長に寄付金目録が渡されました。



その他の活動報告

当社における新型コロナウイルス感染症拡大防止策について

取り組みについて

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当社では、お客様、従業員やその家族、すべての関係者様の安全を確保するため一早く方策を実施しております。

【感染予防と健康管理の徹底について】

- ・状況に応じて、テレワーク(在宅勤務)を実施。
- ・来客制限及び国内外における不要不急の出張について、原則として中止もしくは延期。
- ・社内外イベント、研修会、懇親会について、原則として中止もしくは延期。
- ・手洗い・うがい・消毒など感染防止行動、健康管理の徹底。

今後も当社は、政府および各自治体の方針に従い、お客様および従業員の安全を守り、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先に考えた対応を行ってまいります。

支援について

オリジナル布マスク、ゴーグル、フェイスシールドを寄贈

競泳水着「Speedo」ブランドの素材を使用し、洗濯して再使用することが可能な布製オリジナルマスクを準備。富山県小矢部市に、6,000枚を寄贈しました。また、包括連携協定「S-SAP協定」を締結している東京都渋谷区に、布製オリジナルマスク3,000枚、医療従事者向けのゴーグル800個、フェイスシールド100個を寄贈しました。あわせて重度障がいをもつスポーツ選手(ボッチャ協会、車いすラグビー連盟、障がい者水泳連盟、障がい者スキー連盟、車いすテニス他)に1,000枚を寄贈しました。



医療従事者支援活動

当社製品のGoldwin/C3fit一般医療機器「弾性ストッキング」と、「宇宙下着」の技術を応用したMXPの高機能Tシャツを、自らの感染リスクを防ぎながら、大切な命を救うために昼夜を問わず献身的に頑張ってくださっている医療従事者の方々に寄贈しました。

防護服(医療用ガウン)を準備

最前線で感染症の治療に当たられている医療従事者の方々に向けて、防護服(医療用ガウン)を開発中です。

「ゴールドウイン西田育英財団」と 「ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団」について

ゴールドウイン西田育英財団

2020年8月、アスリートをサポートするスポーツ関連分野、または服飾・ファッション関連分野を学ぶ学生と、創業の地・富山出身の学生の奨学援助を実施することを目的に、本財団を設立することといたしました。本財団の活動を通じて、スポーツアパレル業界、地域社会の発展を目指します。こうした活動は、当社の企業理念の実現に資するものであり、また、中長期的な観点からも、業界の発展、ひいては、当社の企業価値向上に繋がるものと考えております。

ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団

本財団は、2017年5月に、当社がスポーツの振興に関する事業の推進をはかり、すべての人がスポーツを等しく楽しめる共生社会の実現に寄与することを目的として設立いたしました。

この目的を達成するために次の事業を行っています。

- (1) 障がい者スポーツの振興に関する事業に対する助成
- (2) 青少年スポーツの振興に関する事業に対する助成
- (3) 富山県におけるスポーツ振興に関する事業に対する助成
- (4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

障がい者スポーツの支援・次世代アスリートの人材育成・富山県のスポーツ振興を活動の柱に、継続的な支援を進めています。2020年度は、選手・団体あわせて67件の事業に助成決定いたしました。



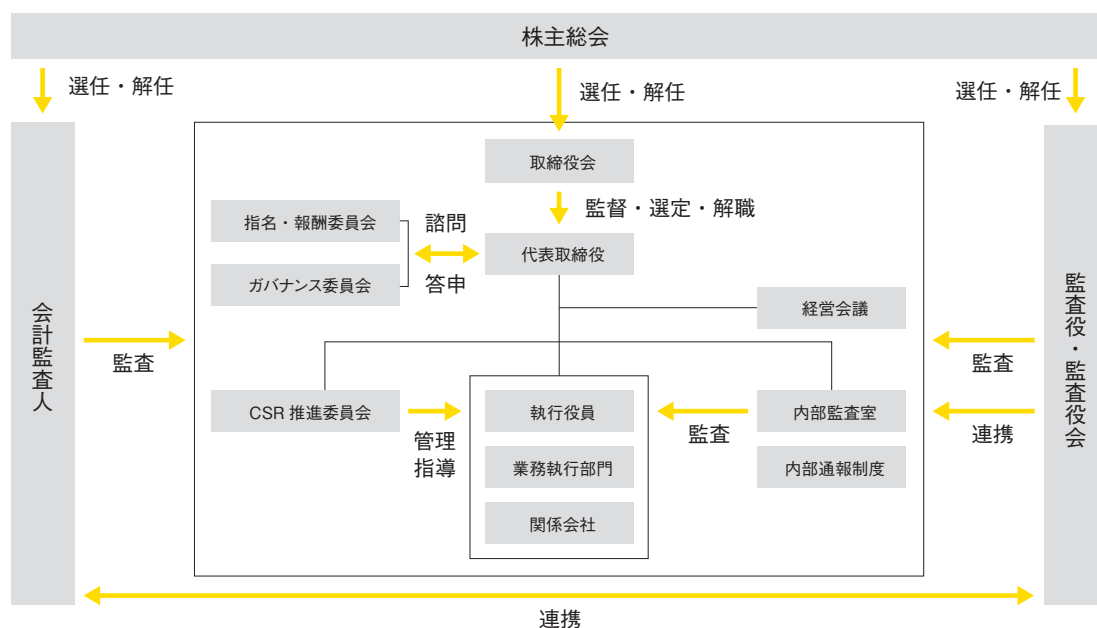
コーポレート・ガバナンス体制

当社はタグライン「SPORTS FIRST:スポーツ・ファースト」のもと、スポーツを通じて、豊かで健やかな暮らしを実現することを使命としております。こうした企業としての社会的責任、すなわち法令等の遵守、内部統制の確立、顧客対応の向上、環境の重視、労働安全・衛生の徹底、人権擁護、社会貢献などを全うし、すべてのステークホルダーから信頼され、収益力の拡大ならびに経営体質の強化・改善を図り、長期的かつ安定した利益還元を維持することが、事業活動において不可欠であると認識しております。この基本的考えのもと、コーポレート・ガバナンスを強化し充実させるため、経営の公正性と透明性の向上、的確かつ迅速な意思決定と効率的な業務執行に努めております。その考えは行動

指針「強い、速い、きれいな経営」として、全ての役職員に徹底されております。

当社は監査役会設置会社であります。監査役会は、経営に対する監査機能を十分に発揮するため、4名の監査役のうち3名は社外監査役で構成しております。

当社の取締役会は、取締役9名、うち3名は独立社外取締役で構成され、毎月1回を定例に開催し、必要に応じて機動的に臨時取締役会を開催し、経営戦略に係る重要な事項を決定するとともに業務執行の状況を監督しております。また、取締役の任期は1年となっており、経営環境の変化に応じた機動的な経営体制を確立しております。



内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

コンプライアンス体制について

企業行動規範

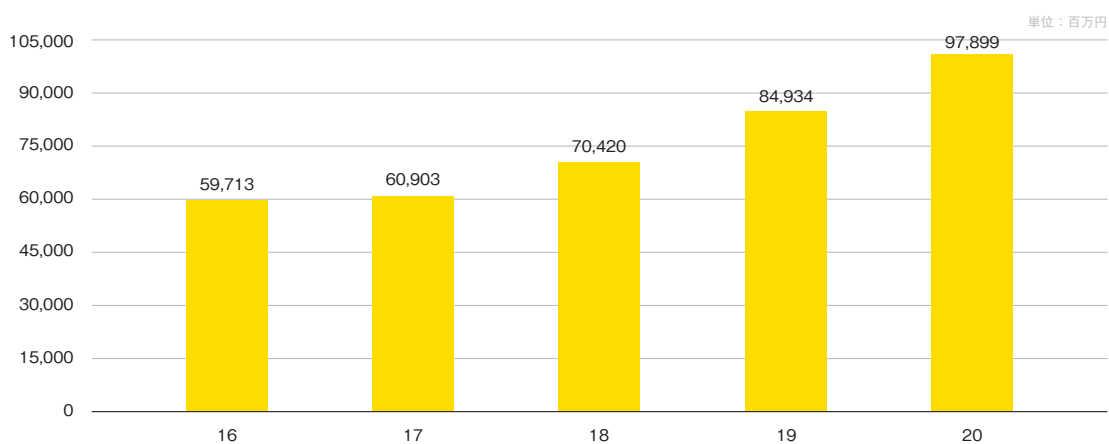
従業員行動基準

<https://corp.goldwin.co.jp/csr/governance>

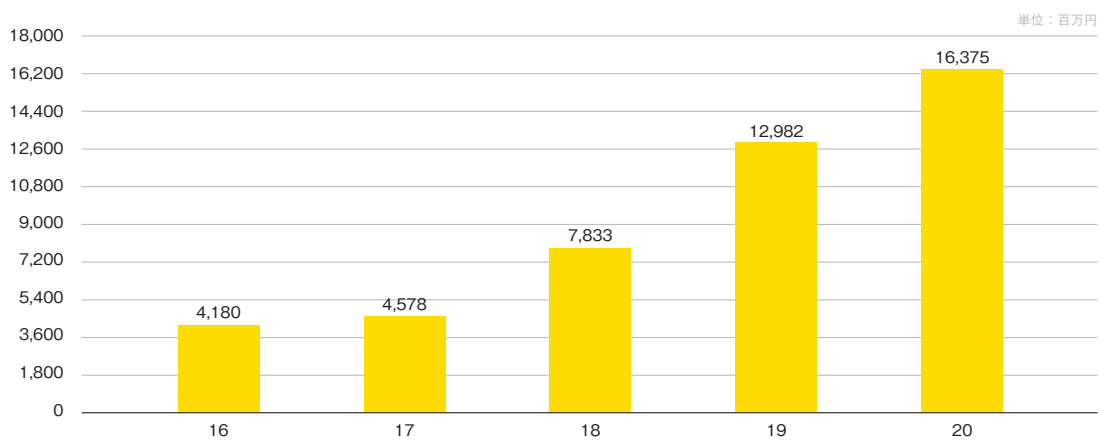
経営情報

連結

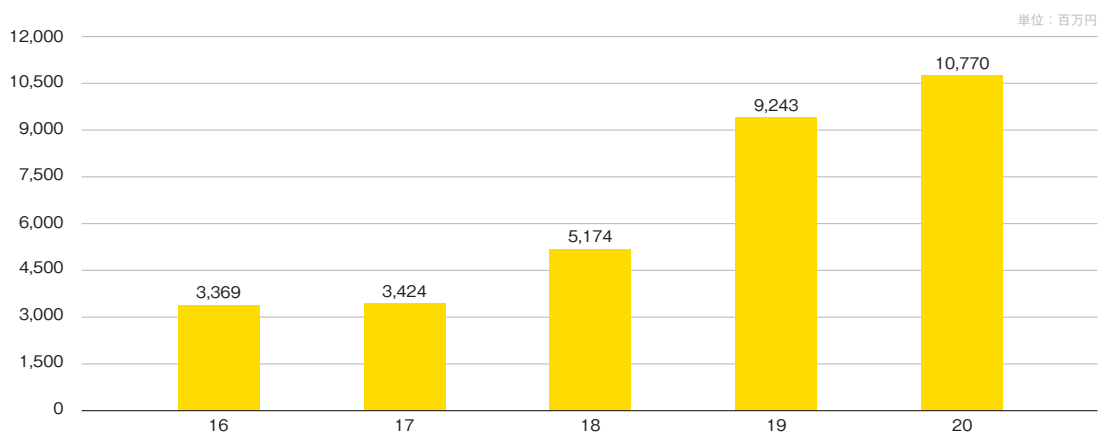
売上高



経常利益



当期純損益



会社概要

株式会社ゴールドウィン GOLDWIN INC.

東京本社

〒150-8517 東京都渋谷区松涛2-20-6 TEL 03-3481-7201(代表)

本店

〒932-0112 富山県小矢部市清沢210 TEL 0766-61-4800(代表)

設立	昭和26年12月22日
資本金	7,079百万円(2020年3月31日現在)
年商(連結ベース)	97,899百万円(2020年3月31日現在)
従業員	1,878名(グループ2,679名)
事業所	本店、東京本社、大阪支店、札幌営業所、 福岡営業所(2020年3月31日現在)
会社概要詳細	https://corp.goldwin.co.jp/
ホームページ	https://www.goldwin.co.jp/
決算短信等IR情報	https://corp.goldwin.co.jp/ir

経営指針

1.強い経営

選択と集中を強め、財務体質を強化すると共に、中長期視点で積極投資し、企業価値を高める。

2.速い経営

顧客ニーズの変化に俊敏に対応し、商品企画から調達・販売までのプロセスを最適化し、実需型ビジネスを推進する。

3.きれいな経営

ワークライフバランスを重視すると共に、環境に配慮した事業運営と、情報の透明性を堅持する。